

地域人材ネット

大学生から育む「20年計画」～若年層との関係人口づくり～

片木孝治

(

かたぎこうじ

)

株式会社 応用芸術研究所 代表取締役



○ 登録者情報

所在地

福井県鯖江市

略歴

1970年京都市生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業(1993)。名古屋大学工学部建築学科研究生(1993～1995)を経て、シーラカンス&アソシエイツ東京一級建築士事務所(1995～2000)勤務。京都精華大学デザイン学部建築学科特任准教授(2007～2012)就任。株式会社 応用芸術研究所を創設、代表取締役 所長(2009～現在)／本社所在地の福井県鯖江市にて河和田アートキャンプ事業他、多地域での取組みから鯖江市の推薦を受けて、総務省 地域力創造アドバイザー(2019～現在)を拝命。

【主な役員歴】

京都府京都市「2R型エコタウン構築事業エコ商店街推進小委員会」委員(2007～)／越の郷地球環境会議アドバイザー(2008～2012)／NPO法人京都カラスマ大学 副理事長(2009～2011)／NPO法人かわだ夢グリーン 理事(2010～2017)／NPO法人もやいなおしの会 顧問(2012～2014)／一般社団法人北陸古民家再生機構 理事(2011～)／福井県鯖江市「第5次総合計画審議会部会委員会」副部長(2010)／京都府建設交通部「地域主導型公共事業委員会」委員(2012～2016)、同座長(2017)／京都府農林水産部「次世代型農業経営者育成アクションプラン策定委員会」委員(2012～2014)／福井県鯖江市「うるしの里元気再生プロジェクト策定委員会」アドバイザー(2013)／京都府与謝野町「海の京都・与謝野町実践者会議」委員(2014)／京都府京田辺市「全国大学まちづくり政策フォーラムin京田辺」審査員(2014～2017)、同審査委員長(2018～現在)などを歴任。

【主な事業歴】

京都市：びつり！エコ100選事業(2004～2012)／鯖江市：河和田アートキャンプ事業(2005～現在)／京都市：エコ商店街事業(2007～現在)／京都市：鴨川アート展(2009～2012)／与謝野町：京都Xキャンプ与謝野事業(2012～現在)／南丹市：京都Xキャンプ美山事業(2013～2018)／坂井市：竹田Tキャンプ事業(2016～現在)／京都府：次世代下宿「京都ソリデール」事業(2016～現在)／鯖江市：鯖江育職住プロジェクト事業(2018～現在)／福井県：「京都×福井」学生活動調査事業(2019)／学生×福井「関りしろ」拡大創出事業(2020～現在)／小浜Rキャンプ事業(2021～)その他、民間活動も多数。

【事業等の受賞歴】

2007年度 (学)京都精華大学／学長賞 (河和田アートキャンプ)
2009年度 総務省／地域づくり総務大臣表彰 団体表彰 (河和田アートキャンプ)
2011年度 鯖江市／自治功労賞 (河和田アートキャンプ)
2014年度 (財)日本産業デザイン振興会／グッドデザイン賞 (河和田アートキャンプ)
2015年度 (社)共同通信社／第6回 地域再生大賞 北陸東海ブロック賞 (河和田アートキャンプ)
2016年度 (株)コニカミノルタ／ソーシャルデザインアワード 審査員特別賞 (京都X キャンプ美山：おじゃま工房)
2016年度 (株)福井放送／第5回かがやき基金 かがやき賞 (河和田アートキャンプ)
2018年度 第2回アート&デザイン新世代賞入選(竹田Tキャンプ)

著書・論文等

○ 大学生から育む「20年計画」～若年層との関係人口づくり～

取組の内容

～1万人が1日参加するイベントづくりから、100人が100日参加する新しい縁(地域力)づくりへのパラダイムシフト～
2005年から各自治体(府県／市町)と実施している「〇〇キャンプ」とは、地域の空家を活動拠点(ベースキャンプ)に、有志大学生の実践型長期滞在活動を誘致する取組みです。活動内容は大学が集中する都市圏での準備活動(年間計60日)と地方圏での滞在活動(年間計70日)の「2拠点活動」を通年(年間合計130日)で往来しながら、参加学生の専攻分野を切り口に地域資源・課題を題材とした住民連携プロジェクトとして1年生から4年間かけて実施します。

また、本事業の実践目的である「20年計画」では、長期ビジョンとして現役学生からOBOGへと次世代の担い手育成を実施してきた結果、2005年～16年間に経過した今、移住したOBOGが河和田アートキャンプで得た地域との信頼関係や経験を基に地域住民と共に地域資源・産業の活性化を担い始めています。



古民家をアートでリノベーション



住民と学生の集合写真

実績

【鯖江市：河和田アートキャンプ事業】

①本事業の継続実績(2005年～現在まで16年間)

・単年度学生参加者数:80名～120名(全国12大学)／現地滞在学生総数約3,200人日／活動学生総数約6,500人日

・事業継続総累計の参加学生数:933人(全国52大学)／移住者数:24名

②本事業の「次世代の担い手づくり」実績(移住したOBOGの活動事例)

・RENEW(2015年～現在):<https://renew-fukui.com/>

・PARK(2014年～現在):<https://www.parksabae.com/>

・椀チーム(2020年～現在):<https://wan-team.stores.jp/>

③本事業を凡例として横展開した事業実績

* 京都Xキャンプ与謝野(2011年～現在まで9年間):京都府与謝野町

・単年度学生参加者数:50名～80名(全国17大学)／現地滞在学生総数約1,800人日／活動学生総数約3,500人日

・事業継続総累計の参加学生数:264人(全国32大学)／移住者数:3名

* 京都Xキャンプ美山(2013年～2018年まで6年間):京都府南丹市

・単年度学生参加数:30名～50名(全国8大学)／現地滞在学生総数約1,200人日／活動学生総数約2,400人日

・事業継続総累計の参加学生数:137人(全国17大学)／移住者数:3名

* 竹田Tキャンプ(2016年～現在まで5年間):福井県坂井市

・単年度学生参加数:40名～60名(全国15大学)／現地滞在学生総数約1,500人日／活動学生総数約2,800人日

・事業継続総累計の参加学生数:163人(全国31大学)／移住者数:2名

工夫した点や苦勞した点

若年層との関係人口づくり～大学生(20歳)から地域との関りを持ち、社会人(40歳)から地域を担う次世代育成～という長期ビジョン「20年計画」は、実績化するまでに時間が掛かります。この事業に取り組んでい頂いている市民、企業、行政方々と参加する大学生の双方が、内発的に関係を深めていく環境づくりに重点を置くことで、全て5年以上の継続実績がある取り組みになっています。

ひとことPR

～1万人が1日参加するイベントづくりから、100人が100日参加する新しい縁(地域力)づくりへのパラダイムシフト～

若年層との関係人口づくりは、1万人を集客する事業を起す未来にむけて、まずは「地域力」を高める1万人事業(新しい縁づくり)からはじめる地域の基盤づくりです。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

応用芸術研究所	https://aai-b.jp/
さばえのしごと図鑑	https://saba-e-job.jp/
Portふくい	https://port-fukui.jp/

連絡先

メールアドレス	info [アットマーク] aai-b.jp		
---------	------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。